

第2回 農場管理認定獣医師認定試験の結果について

令和8年1月17日（土）、東京と福岡の2会場で「第2回農場管理認定獣医師認定試験」が実施された。本試験には、「乳牛農場管理認定獣医師」の受験者17名、「肉牛農場管理認定獣医師」の受験者19名、「豚農場管理認定獣医師」の受験者3名の計39名が受験し、全員が合格した。合格者39名は、令和8年4月1日付けで農場管理認定獣医師として認定・登録された。

令和6年7月24日、本会の「認定・専門獣医師協議会」は、獣医師の専門性に関する認定を行う者として農林水産大臣の指定を受けた。これにより、本協議会が認証した「獣医師の専門性（認定獣医師・専門獣医師の資格）」については、獣医療広告を認められることとなった。

このうち、日本産業動物獣医学会が認定する「農場管理認定獣医師」は、令和6年度に創設された認定制度であり、認定試験の受験資格を得るためには、5年以上の農場管理獣医師としての臨床経験に加え、所定の研修プログラムを修了する必要がある。また、農場管理認定獣医師として認定・登録されるためには、認定試験への合格と認定・登録手続きが必要となる。

第2回認定試験は、受験機会の充実を図る観点から、全国からのアクセスがよい東京（日本獣医師会会議室）

と、受験希望者が多い九州地区（博多駅前会議室）の2会場で実施した。その結果、前年度の受験者7名から大幅に増加し、第2回は39名（東京会場27名、九州会場12名）が受験することとなった。

現在、46名の農場管理認定獣医師（乳牛農場管理認定獣医師22名、肉牛農場管理認定獣医師21名、豚農場管理認定獣医師3名）が、行政機関や関係団体等の専門家と連携しながら、消費者に“安全・安心”な畜産物を提供するための活動を開始している。

農場管理認定獣医師制度は、産業動物分野の獣医療の質の向上に資するだけでなく、産業動物診療に対する生産者等の多様なニーズに的確に応えることが期待されている。さらに、獣医師の処遇改善や産業動物分野における獣医師確保対策にも寄与する取組として注目されていることから、本会としては、今後も本制度の普及推進と農場管理認定獣医師の養成に積極的に取組んでいく。

農場管理認定獣医師の紹介サイト→

